

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン【スピードスケート】

2023年3月2日修正版

(2023年3月13日より適用)

・・・お願い・・・

本ガイドラインは、JSF基準を基に競技会を運営するうえで、日本スケート連盟スピード部委員会と主管連盟が緊密な連携を図り、各競技会・各施設ごとに環境や条件の違いがあることから、あくまでも参考にしていただき、競技会の実施にあたっては、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むようお願いいたします。
 なお、下記に示す内容は感染状況によって変更する場合もあるのでご注意ください。

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
1	参加募集時の対応	<p>感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求めること。 また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>① 参加者、大会運営スタッフなどは、新型コロナワクチン接種を済ませていることが望ましい。 ② 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。 ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合 ウ 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等から帰国した場合</p> <p>③ マスク（不織布が望ましい）をできるだけ持参すること ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（2mを目安に：最低1m）を確保 ⑥ 競技会開催中に大きな声で会話、応援等をしないこと ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う ⑧ 競技会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する</p>	<p>大会要項の「その他」の項に下記内容を掲載する。 <input type="checkbox"/> 感染拡大防止のために協力を求めること。 遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。 ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合 ウ 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等から帰国した場合</p> <p>② マスク（不織布が望ましい）をできるだけ持参すること。 ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。 ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（2mを目安に：最低1m）を確保すること。 ⑤ 競技会開催中に大きな声で会話、応援等をしないこと。 ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。 ⑦ 競技会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 競技会に参加するすべての方々に、マスク・タオル等持参するよう周知する</p>
2	当日の参加受付時の留意事項	<p>主催者は、当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に競技会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要。</p> <p>① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること</p> <p>③ 大と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する ④ 参加者が距離を置いて（できるだけ2mを目安に：最低1m）並べるように目印の設置等を行うこと</p> <p>⑤ 受付を行う役員は、できるだけマスクを着用させる。ただし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されること ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにする ⑦ 当日の受付のほか、前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること</p>	<p><input type="checkbox"/> 会場（建物）に入るときには、できる限り検温、消毒を行う。 <input type="checkbox"/> 受付でのプログラム・参加賞等の配布、健康調査票の受け取りはフェイスシールド、マスク、ビニールカーテン等を使用する。 <input type="checkbox"/> 関係者の会場の出入り口は、各施設ごとに違いはあるがなるべく2か所にする。（密を避けるため） <input type="checkbox"/> 大会事務局は、緊急のコロナ感染症対応についての連絡のため、受付時までに参加者の緊急連絡先を取りまとめておくこと。</p>	<p><input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> アクリル板 <input type="checkbox"/> 透明ビニールカーテン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ビニール手袋</p>

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
3	参加者への対応 スマートフォンアプリ「JSFヘルスチェック」アプリの提示又は、健康調査票の提出	参加する選手・役員・スタッフは1週間分の健康状態がわかるようにするために、JSFが指定する「JSFヘルスチェック」アプリに入力するか、または、健康調査票（別添）に記入し提出すること。 体調の確認 主催者は、当日に、参加者から以下の情報を、主催者が保存できる形で提出を求めること。 ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意 ② 当日の体温 ③ 競技会前1週間における以下の事項の有無 ア 平熱を超える発熱 イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状 ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難） エ 嗅覚や味覚の異常 オ 体が重く感じる、疲れやすい等 カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ク 過去3日以内に 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等から帰国した場合	【選手に対して】 <input type="checkbox"/> 1週間分の健康状態がわかるようにするため指定する「JSFヘルスチェック」アプリの内容を提示するか、または、健康調査票（別添）に記入し提出する。 <input type="checkbox"/> 検温の際に、37.5度を基準として判断する。 （当日の体温の測定忘れの場合は大会本部で計測） <input type="checkbox"/> ことある毎に手指消毒と手洗い・うがいを励行する。 <input type="checkbox"/> ウォームアップやダウンは各自で行なう、集団では行わない。 <input type="checkbox"/> 招集では各自でアームバンドを装着し、返却する。 <input type="checkbox"/> レース終了後は速やかにリンクから上がる。 <input type="checkbox"/> 控え室・更衣室には長居しない。 <input type="checkbox"/> ゴミは持ち帰ること。 <input type="checkbox"/> レース以外は極力マスクを着用する。 【監督・コーチに対して】 <input type="checkbox"/> 当日、37.5度を超過する発熱の場合は会場へ入場できない。 <input type="checkbox"/> コーチングゾーンでは他のコーチと距離を取って待機する。 <input type="checkbox"/> マスクを着用する。	<input type="checkbox"/> 健康調査票
4	マスク等の準備	主催者は、 参加者がマスク（不織布が望ましい）を準備しているか確認すること。 なお、運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等に求めない。の判断によるものとすもの、参加の受付、着替え、表彰式等の運動・競技を行っていない間など、特に屋内において会話する場合、屋外でも他者との身体的距離（2m以上を目安）がとれず会話を行う場合、屋内でも他者との身体的距離がとれない場合は、マスク着用を推奨する。会話する時には、マスクの着用を求める。 （※）マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知する。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知する。	<input type="checkbox"/> 関係者すべてに準備するよう呼びかけていく。	<input type="checkbox"/> マスク
5	競技会参加前後の留意事項	競技会に参加する個人や団体は、競技会前後のミーティングや懇親会等においても三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。	<input type="checkbox"/> 会場内に注意喚起をするよう、チラシを貼ったり、放送等で呼びかける。	<input type="checkbox"/>
6-1	主催者が準備等すべき事項 【手洗い場所】	主催者は、参加者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、手洗い場所を確保すること。 ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる。乾燥させる設備は使用しない） ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する	<input type="checkbox"/> 施設によってそれぞれ環境が違うので、主管連盟で工夫をすること。	<input type="checkbox"/> 石鹸（ポンプ式） <input type="checkbox"/> ペーパータオル <input type="checkbox"/> 手指消毒液

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
6-2	主催者が準備等すべき事項 【更衣室、休憩・待機スペース】	更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが高いと考えられることに留意する。主催者は、更衣室や、休憩スペース、待機スペース（招集場所）について以下に配慮して準備する。 ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する ③ 室内又は スペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒 ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する ⑤ 更衣室など密集することが予想される場所では、入室人数を調整するなど、密集を避ける対策を講ずること。併せて密集が予想される場所の換気状態を確認し、必要であればサーキュレーターなどの換気器具を用意すること。 ⑥ 換気については「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に関わる留意事項について」「別紙5 効果的な換気のポイント」を参照のこと https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220715.pdf	<input type="checkbox"/> 6-5 「観客の管理」でも述べているが、室内の場合で無観客競技会とした場合に、観客席を休憩・待機スペースにするなど、施設環境にあった工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 更衣室は、あくまでも着替えのみとする。 <input type="checkbox"/> 屋外の場合は、施設ごとに検討する。	<input type="checkbox"/>
6-3	主催者が準備等すべき事項 【洗面所】	洗面所（トイレ）は、感染リスクが高いと考えられることに留意する。主催者は、利用する洗面所（トイレ）について、以下に配慮する。 ① トイレ内の複数の 参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する ② トイレの蓋を開けてから、汚物を流すよう表示する ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する ④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする ⑤ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる）	<input type="checkbox"/> 施設によってそれぞれ環境が違うので、主管連盟に任せる。	<input type="checkbox"/> 石鹸（ポンプ式） <input type="checkbox"/> ペーパータオル <input type="checkbox"/> 手指消毒液
6-4	主催者が準備等すべき事項 【飲食物の提供時】	主催者は、栄養補給等として飲食物を参加者に提供する際は、以下に配慮する。 ① 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声をかける。飲食物提供者は、こまめに消毒する ② スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する（ただし、ドーピング検査の対象となる競技者が参加する競技会では、未開封の飲料を提供しなければならない） ③ 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供する ④ 飲食物を取り扱う役員にはマスク（不織布が望ましい）を着用させること ⑤ 参加者（観客・競技関係者）は、競技終了後に、多くの人数で飲食を避けること ⑥ 自動販売機では、使用前後に手指消毒ができるようにアルコールを設置する	<input type="checkbox"/> 各自弁当を取りに行き、配膳する場合はビニール手袋を着用し、食事後各自が空容器を戻す。 <input type="checkbox"/> 回収はビニール手袋を着用する。 <input type="checkbox"/> 主催者側は、ペットボトルのみ用意、委託販売などはその店ごとに協力を願う。	

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
6-5	主催者が準備等すべき事項 【観客の管理】	観客を参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、声出し応援、会話をしている場合にはマスクを着用すること等の注意事項を周知する。-(掲示板などで周知したり、放送等で促す)-	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 観客席に距離を取るための×マーク表示などをする。 <input type="checkbox"/> 屋内の箇所は換気扇を使用するなど換気に努める。 <input type="checkbox"/> 無観客とした場合は、態度決定（大会開催日4週間前）にあわせて周知する。 <input type="checkbox"/> 観客席は観客及び選手の控え場所として使用し、間隔を十分取る工夫をする。 <input type="checkbox"/> 当日、37.5度を超える発熱の場合は会場へ入場できない。 <input type="checkbox"/> 大きな声を出しての応援は控える。 <input type="checkbox"/> 物品販売は販売店の指示に従う。 <input type="checkbox"/> マスクの着用をお願いする。 <p>観客には感染拡大防止に係る事項または、施設利用での注意事項をチラシや放送等で周知徹底を図る。</p>	
6-6	主催者が準備等すべき事項 【会 場】	競技会を室内で実施する場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう、換気を行う。具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。 (※) スポーツ庁作成の「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に、施設管理者とも相談しつつ取り組んでください	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 室内観客席や控え室及び更衣室は換気扇を使用するなど定期的な換気を行う。(施設管理者と連携) <input type="checkbox"/> 施設環境がそれぞれ違いがあるので、施設側とよく協議をして、実施すること。 	
6-7	主催者が準備等すべき事項 【ゴミの廃棄】	鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。 ごみの持ち帰りを協力をお願いする。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ごみの持ち帰りを呼びかける <input type="checkbox"/> ごみ箱は、設置するが数を減らす方向で考えること（施設側と協議） 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ごみ箱、ごみ袋 <input type="checkbox"/> ビニール手袋
6-8	主催者が準備等すべき事項 【スタッフの管理等】	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から、健康観察アプリなどを活用し、毎日の健康状態を把握すること。 ・発熱又は風邪等の症状がみられるスタッフについては、出勤自粛を図り、受診・相談センターやかかりつけ医などに適切に相談するよう促すこと。 ・ユニフォームや衣類はこまめに洗濯すること。 		
7	チームリーダーズミーティング 【監督会議】		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受付で健康調査票を受け取る業務担当者はフェイスシールド、マスク、ビニールカーテン等を使用する。健康調査票の提出はオンラインでの受付も考える。 <input type="checkbox"/> 監督会場は座席間隔を確保する。または、オンラインでの実施も必要に応じて併用する。 	
8	控え室（更衣室、休憩室）		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 控え室（更衣室、休憩室）が3密になる 公式練習やウォームアップの時間帯は控え室が混雑する <input type="checkbox"/> 更衣が済んだら控え室には長居をしない <input type="checkbox"/> レースが終了後、無駄に長居せず帰途につく <input type="checkbox"/> 更衣室、休憩室等は換気扇などを使用し、定期的に換気を行う 	

No.	実施項目	JSF基準	スピードスケート競技会	備考その他・準備品
9	競技役員 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 当日朝、検温すること。 <input type="checkbox"/> 当日、37.5度を超える発熱の場合は役員業務はできない。 <input type="checkbox"/> 競技役員本部に非接触型体温計や脇下体温計を用意する。 <input type="checkbox"/> 会場ではマスク着用、手洗い・うがいを励行する。 <input type="checkbox"/> 会場では大声による指示は避け、必要があればハンドマイクを使用。 <input type="checkbox"/> 役員打ち合わせは座席距離を確保する。 <input type="checkbox"/> アシスタントスターターコールは名前を確認し、アームバンドは選手が各自装着する。装着依頼があった場合はビニール手袋を着用する。 <input type="checkbox"/> マニュアルタイムキーパーは距離を確保する工夫を行う。 <input type="checkbox"/> バッジテスト員は フェイスシールド 、マスク、ビニール手袋等を使用する。 <input type="checkbox"/> 競技用具は適宜消毒する。 ※ 密にならないようにそれぞれの担当者が選手に呼びかける。	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ハンドマイク（拡声器） <input type="checkbox"/> ビニール手袋 <input type="checkbox"/> 非接触型体温計
10	滑走時 W-up時 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 滑走時以外はマスク着用 <input type="checkbox"/> 複数名での陸上W-up、氷上トレーニングの禁止(エルゴは設置時に距離確保)	
11	コーチング関係 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> コーチングの際、マスクを外さないこと <input type="checkbox"/> コーチの待機場所も座席間隔を保持する。	
12	スケート脱着・リンクへの 入退場【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> スケート靴脱着用椅子などを距離をとって配置する。 <input type="checkbox"/> 隣の競技者と距離を取って座る。	
13	開会式・閉会式・表彰式 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 簡素化できるものはする。 <input type="checkbox"/> 表彰式のメダル授与もプレゼンターはビニール手袋を着用し、賞状・メダルを手渡しする。	
14	報道 【実行委員会指示】		<input type="checkbox"/> 囲み取材は 競技者と記者の間に ビニールカーテン などを設置するか2mの距離を保つ。 <input type="checkbox"/> 報道用写真撮影は1.5mの距離を保つ	<input type="checkbox"/> 透明ビニールカーテン
15	公式練習 【レフェリー指示】		<input type="checkbox"/> 公式練習のタイムスケジュールや実施方法を主管連盟で検討する <input type="checkbox"/> 人数・時間制限の設定	